

第12回水稲病害虫発生予察結果（伊豆市内）



5月中旬～下旬田植えの中晩生品種（きぬむすめ・あいちのかおり SBL 等）

【生育状況と栽培管理】

中生品種では乳熟期（籾を潰すと白い液がでる時期）から糊熟期（籾が硬くなり潰せない時期）となっています。

晩生品種では穂揃期（田んぼ全体の穂が90%程度出た時期）から、早い圃場では乳熟期となっています。

登熟を促すために水が必要になりますので間断灌水の水管理を行ってください。また、収穫7日前を目安に落水するようにしてください。

【病害虫の発生状況】

大平地区、大沢地区、牧之郷地区ではカメムシが田んぼ内で確認されております。晩生品種は穂揃期から乳熟期となっているため、吸汁被害を受けやすい時期となっております。カメムシ防除をまだ行っていない方は薬剤散布による防除を行ってください。防除方法については「第6回水稲病害虫発生予察結果」をご確認ください。

【今後の水稲病害虫発生予察について】

今年度の定期的な水稲病害虫発生予察は終了となりますが、ウンカの大量発生情報等がありましたら、FM伊豆やJAふじ伊豆ホームページなどを通じて告知いたしますのでご確認ください。

過去の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！



作成日：令和5年8月29日
JAふじ伊豆修善寺営農経済センター
担当：竹村
電話：0558-72-4461